

第 16 回京都フィルムメーカーズラボ (Kyoto Filmmakers Lab 2023-24) 結果報告

令和 6 年 3 月 15 日
京 都 文 化 博 物 館



▶東映チーム



▶松竹チーム

京都フィルムメーカーズラボ (以下、KFL と略称) は、国内・海外の若手映画製作者を対象にして、東映京都撮影所、松竹撮影所の各オープンセットを使い、短編時代劇作品を製作するワークショップである (公用語は英語)。時代劇セット、美術、照明、衣裳など本編映画と同じ施設・道具を使用し、京都伝統の本格的時代劇を体験する。またこれにより、内外の若手映画作家間のネットワーク形成を支援する。

ウェブ公募 (2023 年 10 月 18 日 [水] ~12 月 17 日 [日]) はハンズオン時代劇、マスターズセッションに分けて応募を行なった。結果、日本含む 37 カ国から 182 名の応募があり、ハンズオン時代劇、マスターズセッションで計 15 カ国から 35 名の参加者となった。

<ハンズオン時代劇>

安藤清人氏 (照明監督/東映)、永島聡氏 (プロデューサー/松竹) 監修のもと、ハンズオン形式による直接指導の時代劇製作を 2024 年 1 月 29 日 (月) ~1 月 31 日 (水) の 3 日間にわたって東映京都撮影所、松竹撮影所で開催。

<マスターズセッション>

2024 年 1 月 26 日 (金) ~1 月 28 日 (日) まで、京都文化博物館および旧武徳殿を会場に、殺陣の実技講座を含め 11 のセッションを開催。

なお、宿泊については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、例年の合宿形式は取りやめ、各自で手配とした。

主 催： 京都ヒストリカ国際映画祭実行委員会

[京都府、京都文化博物館、東映株式会社京都撮影所、株式会社松竹撮影所、株式会社東映京都スタジオ、巖本金属株式会社、株式会社ディレクターズ・ユニブ、立命館大学]

共 催： 第 36 回東京国際映画祭実行委員会、イタリア文化会館-大阪、KYOTO Cross Media Experience 実行委員会

協 力： 京都クロスメディア推進戦略拠点

1 参加者募集

期 間： 2023 年 10 月 18 日 (水) ~12 月 17 日 (日)

方 法： ウェブページからの申込み (3 分以内の自作サンプルをオンラインで提出)

応募件数： 182 名 (ハンズオン+マスターズセッションの応募合計)

国籍内訳： オーストラリア、バングラデシュ、ブルガリア、ブルガリア/シリア、カナダ、チリ、中国、クロアチア、デンマーク、エクアドル、フィリピン、グアテマラ、インド、インドネシア、

アイルランド、イスラエル/パレスチナ、イタリア、ケニヤ、リトアニア、マレーシア、メキシコ、ネパール、ポーランド、韓国、セルビア、シンガポール、南アフリカ、スウェーデン、台湾、タイ、トルコ、ウガンダ、アメリカ、ヴェトナム、日本、イギリス

2 参加者審査

審査日：2023年12月24日（日）

会場：京都文化博物館 7階会議室

審査員：高橋剣氏（東映京都撮影所）、永島聡氏（松竹撮影所）

審査通過：40名（ハンズオン時代劇20名、マスターズセッション20名）

実際参加数：ハンズオン時代劇20名、マスターズセッション15名

3 シナリオ選考コンペ、監督選考ならびに参加者撮影担当割り振り

シナリオ選考コンペと採用シナリオについて：

- ・参加者から、3分を目処に作品シナリオを公募した結果、13本のシナリオの提出があった。
- ・内容、使用可能なセット、俳優等の条件から、以下のシナリオを選出。

『流れ者』 作：Mako Kamitsuna（東映チーム）

『密談長屋』 作：日座裕介（松竹チーム）

ハンズオン時代劇の参加者は上記審査会での評価点上位20名とし、評価点と参加者の希望を勘案して各担当を割り振った。

【東映チーム】

スーパーヴァイザー：安藤清人（照明監督）

Suyash Kamat（監督／バングラデシュ）、Baihui Chen（撮影／中国）、Mako Kamitsuna 上綱麻子（助監督／日本）、CLAUDIO CASALE（助監督／イタリア）、Takashi Yoshida 吉田能（録音／日本）、Yuki Imai 今井由希（美術／日本）、Takafumi Sakabe 坂部敬史（照明／日本）、Daichi Oshiyama 押山大智（製作／日本）、Hitomi Kawashima 川嶋一実（製作／日本）、Gen Dobashi 土橋玄（フリー／日本）

*Kingkan Siripiriyakul（タイ）はキャンセル

【松竹チーム】

スーパーヴァイザー（プロデューサー）：Yuji Onishi/大西悠嗣, Yasuyuki Ikumi/井汲泰之, Satoshi Nagashima/永島聡

Abu Shahed Emo（監督／インド）、Mingjue Hu（撮影／イギリス）、Patryk Drózdź（撮影補／ポーランド）、Yusuke Hiza 日座裕介（助監督／日本）、Asta-Mai Duenweber（助監督／デンマーク）Yoshiaki Shimane 嶋根義明（照明／日本）、David Wilson（録音／イギリス）、Nestor Abrogena（美術／フィリピン）、Muhammad Saiem Kedu（製作／マレーシア）、Yoshiko Watanabe 渡辺喜子（製作／日本）

【マスターズセッションからの参加者】

Ta Su（台湾）、Ni Luh Febri Darmayanti（インドネシア）、Huu-Tuan Nguyen（ヴェトナム）、Vy Thi Thuy Ngo（ヴェトナム）、Adrienne Lunson（アメリカ）、YuHui (Judie) Yang（台湾）、Eiichi Takahashi 高橋 栄一（日本）、CHENYI WU（中国）、Hiroshi Takano 高野宙（日本）、Mikkel Warrer（デンマーク）、Felicity Tillack（オーストラリア）、James Yuya Morimoto（アメリカ/日本）、Koichi Yamashina 山科晃一（日本）、Shinomichi Ishida 石田忍道（日本）、Blaine Fuller（アメリカ）

*Jazreel Low（シンガポール）、Luiza Zygmunt Sosnowska（ポーランド）、Pamela Velazquez（スペイン）、Chiara Cavarzan（イタリア）、Zhengrong Ni（中国）はキャンセル

4 京都フィルムメーカーズラボ・日程

■マスタース・セッション

会場：東映京都撮影所、松竹撮影所、京都文化博物館、旧武徳殿

2024年1月26日 13:00～14:00

【MS01】全体オリエンテーション 会場：京都文化博物館 6F 和室

参加者、撮影所スタッフそれぞれの自己紹介およびラボ全体の概要と、移動・宿泊やその他注意点などを説明。



15:00～16:30

【MS02】殺陣講座 会場：旧武徳殿（京都市武道センター）

東映京都撮影所殺陣師による、京都の殺陣の精神とスタイルのレクチャーと実演。



2024年1月27日 10:30～12:30

【MS03】ライトニング・トーク 会場：京都文化博物館 6F 和室

KFL参加者による自己紹介。自身の実績、次回プロジェクト、夢など。



14:00~16:20

【MS04】TVアニメーション「ONE PIECE」ワノ国編 上映+京都ヒストリカ国際映画祭セレモニー 会場：京都文化博物館別館ホール

京都ヒストリカ国際映画祭のプログラム「ヒストリカスペシャル」で上映のTVアニメ「ONE PIECE」ワノ国編の上映とトークおよび、同映画祭のセレモニーへの参加。



17:00~18:00

【MS05】カムバック・サーモン・プロジェクト 会場：京都文化博物館 6F 和室

過去のKFL参加者である前田直樹（映画監督、KFL2010年参加者）のキャリア及び今後についてのトーク。



2024年1月28日 10:30~12:00

【MS06】絵コンテ・バトル 会場：京都文化博物館 6F 和室

『御誂治郎吉格子』（1931）の脚本を元に参加者が描いた絵コンテをTVアニメ『ONE PIECE』のスタッフである清水慎治、長峯達也、暮田公平、赤堀哲嗣が評価する。



13:00~14:00

【MS07】 HISTORICA X 会場：京都文化博物館 6F 和室

TV ドラマ『どうする家康』でヴァーチャル・プロダクションを担当した NHK の村山峻平によるトーク。



14:30~15:00

【MS08】 特撮セッション 会場：京都文化博物館 6F 和室

円谷プロ出身でフォルムメーカーズラボのスタッフでもある八木毅監督による特撮表現の特徴の講義。



15:15~15:45

【MS09】 BCC_VR 会場：京都文化博物館 6F 和室、1F VR 展示場

ヴェネツィア国際映画祭のビエンナーレ・カレッジ・シネマで VR 作品を製作したキアラ・トロイージによる講義。



16:00~17:00

【MS10】 Poland Session 会場：京都文化博物館 6F 和室

ポーランドの NNW 映画祭のプログラムディレクターであるスワヴォミール・チョクによる講義。



17:30~18:30

【MS11】 BCC_Session 会場：京都文化博物館 6F 和室

ヴェネツィア国際映画祭のビエンナーレ・カレッジ・シネマのヴァレンティーナ・ベローモによる、ヴェネツィア国際映画祭が行う若手映画作家育成事業についてのトーク。



■ハンズオン時代劇

会場：東映京都撮影所、松竹撮影所

1月29日 13:00~13:30

【H1】全体オリエンテーション 会場：東映京都撮影所 プロダクションルーム

参加者、撮影所スタッフそれぞれの自己紹介およびラゴ全体の概要と、移動・宿泊やその他注意点などを説明。



14:00～

【H2】プリプロダクション 会場：東映京都撮影所、松竹撮影所

東映チーム・松竹チームに分かれ、スタジオ、セット等を確認後、撮影・演出プランの打合せを行う。



1月30日、31日 9:00～18:00

【H3～H4】ハンズオン時代劇・短編時代劇撮影 会場：東映京都撮影所、松竹撮影所

東映チーム・松竹チームに分かれ、2日間で作品撮影。



■京都フィルムメーカーズラボ+マスターズセッション・オンライン・ワークスペース

<KyotoFilmmakersLabhq.slack.com> アプリ：Slack

オンラインで事前のプリプロ打合せ、マスターズセッション講座事前説明、講師への質問、討論。
(交流メッセージ数 2,963件)

■【東京国際映画祭連携共催プレ企画】

フィルムメーカーの悩み-人的ネットワークの作り方

2023年10月30日（月）13:30~15:00

共催：第36回東京国際映画祭実行委員会

会場：東京ミッドタウン日比谷 BaseQ HALL 1

第36回東京国際映画祭の会期中にメイン会場の一つである東京ミッドタウン日比谷 BaseQ で開催。京都フィルムメーカーズラボの過去の参加者3名（山崎樹一郎 2012年東映チーム美術担当、宮本万里 2021-22年東映チーム製作担当、西川文恵 2009年松竹チーム助監督担当）を講師に、映画づくりや自分の夢を実現するために必要な人的なネットワークづくりの実例を講演。講演後は茶話会を開催、ラボの紹介と来場者・参加者含めての自己紹介を行なった。（参加者数41名 ※このうち4名が今回のラボ・マスターズセッションに参加した）

